

# 経営比較分析表

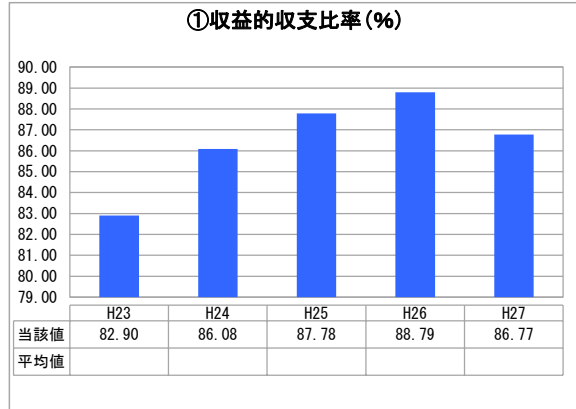
岐阜県 富加町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	60.50	76.29	3,348

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
5,720	16.82	340.07
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
3,439	1.54	2,233.12

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成27年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



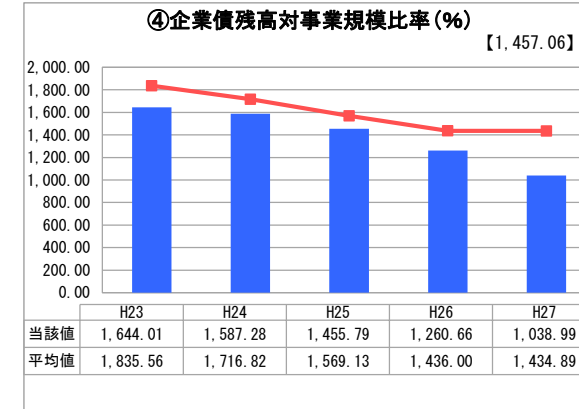
「単年度の収支」



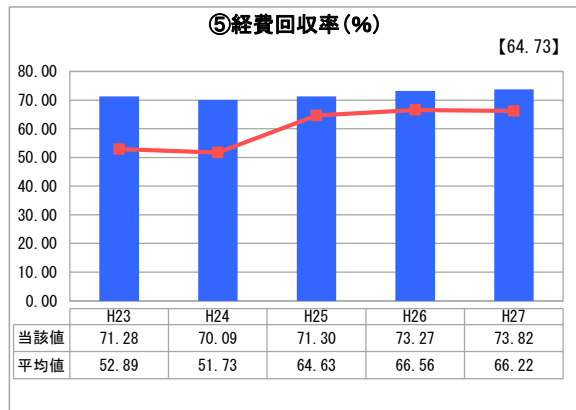
「累積欠損」



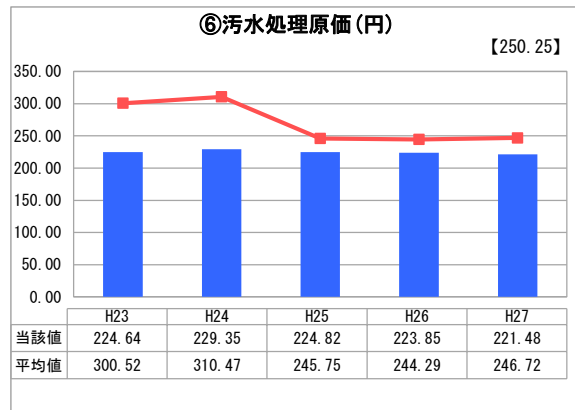
「支払能力」



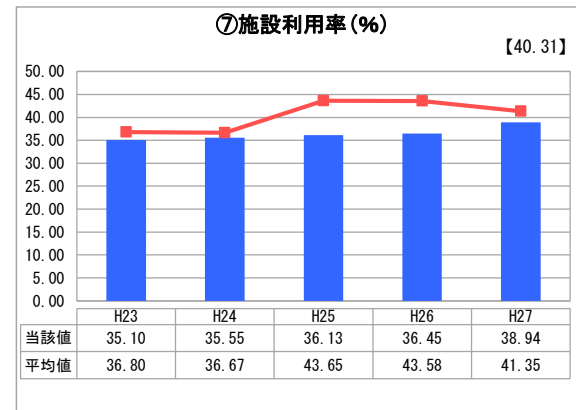
「債務残高」



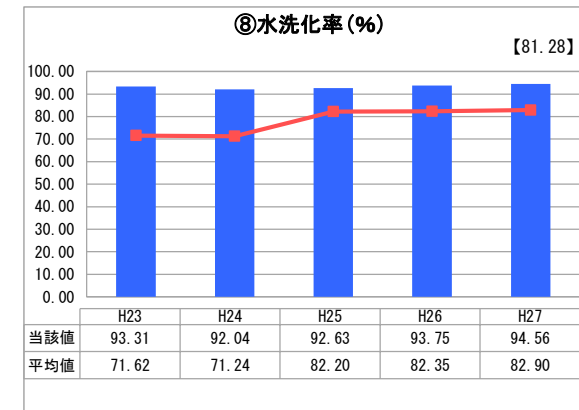
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

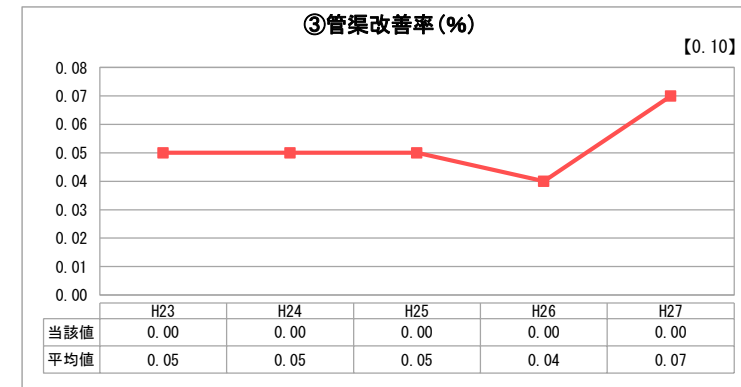
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

④、⑤、⑥から類似団体の中でも健全であると言える。しかし、①より収益的収支比率および経費回収率が100%未満であることから、料金収入だけで維持管理経費や企業債償還を賅えず、一般会計からの繰入に依存している状況である。今後老朽化が進み、更新に費用を要することになれば、料金等の見直しが必要になってくる。

⑦から施設利用率が約39%と低い。安定した処理はできているが効率性が悪い。将来、人口増対策や農集地区の一部との統合を含め、施設利用率の向上を図る。

⑧から水洗化率が高いことが言える。今後とも水洗化の啓発を行っていく。

### 2. 老朽化の状況について

平成元年度に国の事業認可を受け平成11年3月に供用開始しており、平成16年度末には、汚水の面整備をほぼ完了している。現在は整備された施設のうち浄化センターとマンホールポンプの維持管理を重点的に実施している。浄化センターの機械設備やマンホールポンプ等は対応年数の到来により順次経年劣化時期を迎える。

### 全体総括

今後、安定的に事業を継続するため、実現可能な経営の効率化・健全化に向けた経営戦略を策定し、また、企業会計への移行を平成32年度に実施し、特定環境保全公共下水道事業の経営状況の『見える化』を図る。さらに長寿命化計画・ストックマネジメントによる計画的な施設等の更新に取り組む。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。